

ICHIHARA LAKESIDE MUSEUM

Kaneuji Tepppei

金氏徹平

2022年4月16日 [土] — 6月26日 [日]
市原湖畔美術館 (千葉県市原市不入75-1)

開館時間：平日10:00-17:00、土曜・祝前日9:30-19:00、日曜・祝日9:30-18:00

* 最終入館は閉館時間30分前まで 休館日：月曜日 (祝日の場合は翌平日)

料金：一般：1,000 (800) 円 / 大高生・65歳以上：800 (600) 円

* () 内は20名以上の団体料金。 * 中学生以下無料・障がい者手帳をお持ちの方とその介添者 (1名) は無料
主催：市原湖畔美術館 [指定管理者：(株)アートフロントギャラリー] 協力：山内石材株式会社

Something Falling/Floating



世界の形態が変容する今、 金氏徹平が新たに「彫刻」を問う！

身の回りの物を既存の意味や用途から解放し繋げていくコラージュの手法で、思いもなかった形象や風景をダイナミックに現出させる金氏徹平。近年、ますます多様な領域を横断し、さまざまなコラボレーションに取り組んできた金氏が、あらためて“彫刻”に向かいあう「S.F.」シリーズ最新作《S.F.(Something Falling/Floating)》。人工湖のほとりにたえずバブルの遺産建造物から誕生した美術館を舞台に展開する金氏徹平の“S.F.ワールド”をご堪能ください。

新作を含む立体、平面、約50点により構成。ニューヨークのJapan Societyで好評を得た《Smoke and Fog (Roadside Noguchi)》も日本初公開。

金氏徹平（かねうじ・てっぺい）

1978年京都府生まれ。2001年、ロイヤル・カレッジ・オブ・アート（ロンドン）に交換留学。2003年京都市立芸術大学大学院彫刻専攻修了。現在、同大学美術学部彫刻専攻准教授。

主な個展に、横浜美術館（2009年）、ユレランス現代美術センター（北京、2013年）、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（2016年）など。平成24年度京都市芸術新人賞、平成27年度京都府文化賞奨励賞、平成30年第29回タカシマヤ文化基金受賞。

イベント

● オープニングトーク

金氏徹平 × 村田沙耶香（作家）

日時：4月16日（土）13:00-14:00

費用：1,000円（別途要入館料）

● ワークショップ

「金氏徹平さんとS.F.彫刻について考えて、つくる」

日時：4月17日（日）13:00-16:00

費用：1,000円（別途要入館料）

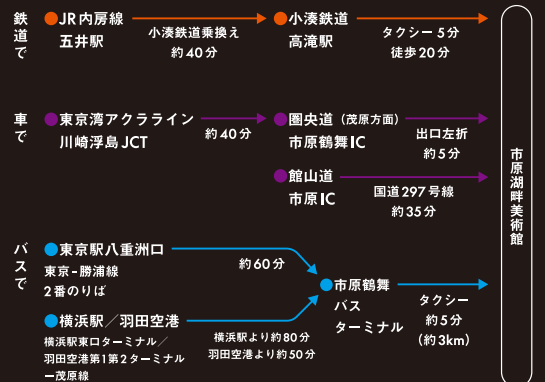
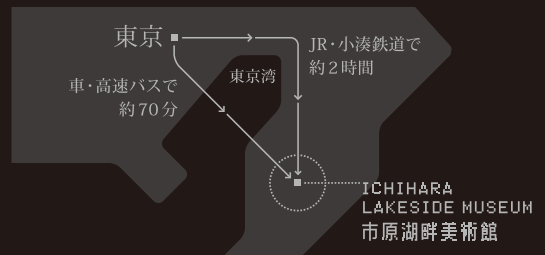
定員：10名

対象：子どもから大人まで（付き添いが必要な場合は、大人1名まで）

※要事前申込。お申込は、美術館HPからお願いいたします。

※定員に達し次第、申込み受付を終了します。

アクセス



参考作品：
《S.F.(Summer Fiction)》大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2018
photo: Keizo Kioku

お問合せ：市原湖畔美術館 〒290-0554 千葉県市原市不入75-1
TEL: 0436-98-1525 E-mail: info@ism-ichihara.jp <https://ism-ichihara.jp/>